

「美術2・3上(2年生)」資料のご活用にあたって

・本資料の配当時間数は、日本文教出版株式会社ホームページにて公開しています【『教材内容資料(評価規準例)』】で示している配当時間のうちの、最も長い時間数を設定しております。

・指導計画の作成にあたっては、各学校での実態に合わせて時間数をご検討ください。

・題材配列の事例に関しては、日本文教出版株式会社ホームページの『年間指導計画例』もご参照ください。

※当該学年で取り扱う内容について、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせたりするなどの配慮が必要となります。

※また、上級学年に指導内容を送った場合には、教員間でしっかりと引継ぎをするなど十分に配慮していただくようご注意ください。

①題材名	②総ページ数	③配当時間数	④学習内容	⑤学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑥③の教材・学習活動の概要、配当時間数()内 ※学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動が可能と判断した理由	⑦⑤感染症対策の観点から、指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑧⑥⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数 ※感染症対策の観点から指導順序を変更すべきと判断した理由	⑨⑦⑧の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時数
新鮮な視点でとらえよう	p.8~9	8	○見慣れた風景を視点を変えて見つめ、新鮮な感動から主題を生み出す。 ○主題から風景に対する感情がより表れるよう、技法、構図、色彩など表現の構想を練る。 ○構想に沿って、材料や用具の特性を生かして絵や写真などで効果的に表現する。 ○友だちの作品を鑑賞し、視点を変えることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。	○見慣れた風景を視点を変えて見つめ、新鮮な感動から主題を生み出す。 ○主題から風景に対する感情がより表れるよう、技法、構図、色彩など表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・身近な風景から主題について考えてみることや、アイデアスケッチに描いたり、ノートに書きとめたりして大まかな構想を練ることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)	○風景を観察する場合は、その場所における活動に配慮する。	※学校外での観察に対して検討が必要(0.5)	6
くさで語る動物たち	p.10~11	8	○動物がもつ特徴などから表現の主題を生み出す。 ○生き生きとした動物を表すための形、色彩、材料、制作の手順などについて構想を練る。 ○構想に沿って材料や用具を工夫し、生き生きとした動物の姿を立体に表す。 ○友だちの作品を鑑賞し、作品から受ける思いについて話し合う。	○動物がもつ特徴などから表現の主題を生み出す。 ○生き生きとした動物を表すための形、色彩、材料、制作の手順などについて構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・動物の特徴などから主題について考えてみることや、アイデアスケッチにまよめたりするなどして大まかな構想を練ることは、学校の授業以外の場において実施可能			6.5
響き合う言葉と絵	p.12~13	7	○自然や生活の様子から感じられることをメモやスケッチにまとめるなどして主題を生み出す。 ○感じた思いが効果的に表されるよう、構図や文章、文字の形や色彩についてアイデアスケッチを描きながら表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして、表したい主題に合った表現方法を選び、効果的に表現する。 ○相互鑑賞を行い、作者の意図や工夫について話し合う。	○自然や生活の様子から感じられることをメモやスケッチにまとめるなどして主題を生み出す。 ○感じた思いが効果的に表されるよう、構図や文章、文字の形や色彩についてアイデアスケッチを描きながら表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・感じたことを基に主題について考えることや、アイデアスケッチを描きながら大まかな構想を練ることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)			5.5
瞬間の美しさを形に	p.14~15	10	○動きのある人物の姿から、心惹かれる場面をとらえてスケッチするなどして主題を生み出す。 ○主題がよりよく表されるよう、単純化や強調の仕方を工夫して、動きや躍動感が感じられるポーズや形を構想する。 ○構想に沿って適切な材料や用具を選び、その特性を生かしながら立体に表す。 ○完成した作品を鑑賞し、動きや躍動感を表現する工夫	○動きのある人物の姿から、心惹かれる場面をとらえてスケッチするなどして主題を生み出す。 ○主題がよりよく表されるよう、単純化や強調の仕方を工夫して、動きや躍動感が感じられるポーズや形を構想する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・自分で様々な動きを試してみようとして主題について考えることや、主題を基にアイデアスケッチにまとめるなどして大まかな構想を練ることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)			8.5
心でとらえたイメージ	p.16~17	8	○心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出す。 ○主題を基に、形や色彩、構成や材料の効果を生かし、単純化や強調などを考えながら表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表す。 ○友だちや自分の作品を鑑賞し、主題をどう表したか作者の意図や工夫について話し合う。	○心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出す。 ○主題を基に、形や色彩、構成や材料の効果を生かし、単純化や強調などを考えながら表現の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・感情や印象などから主題について考えることや、アイデアスケッチに描いたり、ノートに書きとめたりして大まかな構想を練ることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)			6.5
名画の魅力に迫る	p.18~19	3	○描かれている事物や人、構図や色づかいなど、事実として共通に認識できるものについて意見を出し合う。 ○描かれた人物の表情やしぐさ、構図、図法への応用の仕方などから、作者の心情や意図と表現の工夫について意見を交換する。 ○友だちの意見や教師の解説、自分の気付きなどを踏まえ、感じ取ったことや考えたことをまとめる。	○作品を鑑賞し、描かれている事物や人、構図や色づかいなど、事実として共通に認識できるものについて自分なりに書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・感じたことをアイデアスケッチに描いたり、ノートに書きとめることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)			1.5
光が生むリアルとドラマ	p.20~21	3	○作品を鑑賞し、はじめに感じたことや、考えたことについて友だちと話し合う。 ○描かれた人物や、構図、光と陰影の表現や効果などを理解し、作者の心情や意図と工夫について意見を交換する。 ○友だちの意見や教師の解説、自分の気付きなどを踏まえ、感じ取ったことや考えたことをまとめる。	○作品を鑑賞し、はじめに感じたことや、考えたことについて自分なりに書きとめたり、まとめておく。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・感じたことをアイデアスケッチに描いたり、ノートに書きとめることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)			1.5
墨が生み出す豊かな世界	p.22~23	5	○水の量や筆の動かしかたなどを試し、基本的な水墨画の技法を練習する。 ○墨に親しみながら、自然や身の回りの様子、文字の形とその意味などから発想し、表したい主題を生み出す。 ○構図や技法を意識しながら、墨の特性を生かし、工夫して表現する。 ○友だちや作家の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	○作品を鑑賞し、墨に親しみながら、自然や身の回りの様子、文字の形とその意味などから発想し、表したい主題を生み出す。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・墨に親しみながら、自然や身の回りの様子、文字の形とその意味などから表したい主題を考えることは、学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			4

①題材名	②総ページ数	③配当時間数	④学習内容	⑤学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑥③の教材・学習活動の概要、配当時間数()内 ※学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動が可能と判断した理由	⑦⑤の教材・学習活動の観点から、指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑧⑤の教材・学習活動の観点から判断した理由	⑨③⑤の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時数
東へ、西へ…	p.24～31	3	○作品を鑑賞し、はじめに感じたことや、考えたことについて友だちと話し合う。 ○西洋の美術作品に影響を与えた日本の美術作品のよさや美しさはどのようなところにあったのか、制作された時代も視野に入れながら考え、意見を述べ合う。 ○日本や西洋の美術作品のそれぞれのよさや美しさを味わい、感じ取ったことや考えたことをまとめる。	○作品を鑑賞し、はじめに感じたことや、考えたことについて自分なりに書きとめたり、まとめておく。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・感じたことをアイデアスケッチに描いたり、ノートに書きとめることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)			1.5
漫画表現の豊かさ	p.32～33	2	○漫画の多様な表現方法を鑑賞し、その効果について気付いたこと、感じたこと、考えたことについて友だちと話し合う。 ○線の表現に注目し、過去の日本の美術作品と漫画との共通点について気付いたこと、感じたこと、考えたことについて意見を述べ合う。 ○友だちの意見や教師の解説、自分の気付きなどを踏まえ、作者の心情や意図と工夫や、感じ取ったことなどをまとめる。	○漫画の多様な表現方法を鑑賞し、その効果について気付いたこと、感じたこと、考えたことについて自分なりに書きとめたり、まとめておく。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、表現の効果や感じたこと、考えたことをアイデアスケッチにまとめることは、学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			1
日本の美意識	p.34～37	8	○和菓子や着物、屏風など、日本の風土に育まれ四季を意識した美術や工芸品のよさや特性について理解する。 ○日本の伝統的な工芸品からイメージを広げ、衣・食・住などの生活を美しく豊かにする工夫を考え、表現の構想を練る。 ○自然の材料の特性や、日本の伝統色を生かして、生活を美しく豊かにするためのものを制作する。 ○友だちや作家の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	○和菓子や着物、屏風など、日本の風土に育まれ四季を意識した美術や工芸品のよさや特性について調べたり、書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・四季を意識した美術や工芸品のよさや特性について調べたり、書きとめたりすることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)			6.5
情報をわかりやすく伝えよう	p.38～39	6	○身の回りがあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内に設置することなどを想定し、あると望ましいサインやピクトグラムを発想し、単純化や強調を考え、伝わりやすい形や色彩の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かし、サインやピクトグラムをデザインする。 ○作品を相互鑑賞し、よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、味わう。	○身の回りがあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・出来る範囲で身の回りがあるサインやピクトグラムについて調べたり、伝達の工夫について書きとめたりすることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)	○身の回りのサインやピクトグラムを鑑賞するときに、感染症対策に配慮する。		4
豊かなイメージで伝えよう	p.40～41	8	○ポスターやイラストレーション、ブックカバーなどを鑑賞し、メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。 ○意図が効果的に伝わるような構図やキャッチコピーなど、色彩や表現方法を考え、作品の構想をアイデアスケッチにまとめる。 ○アイデアスケッチにしたがって、描画材料の特性を生かし、美しく制作する。 ○作品を相互鑑賞し、よさや美しさ、相手に伝えるための工夫について考えをまとめる。	○身近なポスターやイラストレーション、ブックカバーなどを鑑賞し、メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。 ○意図が効果的に伝わるような構図やキャッチコピーなど、色彩や表現方法を考え、作品の構想をアイデアスケッチにまとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、伝達の工夫について感じたことや考えたことをアイデアスケッチにまとめるなどして、大まかな構想を練ることは、学校の授業以外の場において実施可能(1)	○身近な作品を鑑賞するときに、感染症対策に配慮する。		6
やさしさのデザイン	p.42～43	6	○ユニバーサルデザインの考えについて理解し、それぞれの日用品の用途や機能と形の調和について考え、気付いたことをまとめる。 ○だれもが使いやすいという視点に立って日用品のデザインを考え、アイデアスケッチと説明文で構想を練る。 ○つくりたい日用品に合った材料や用具を使い、手順などを考え見直しをもって制作する。 ○作品を相互鑑賞し、作者の意図などを感じ取り、味わう。 ○だれもが豊かな生活を送るために大切なユニバーサルデザインについて考えをまとめる。	○作品を鑑賞しながら、ユニバーサルデザインの考えについて理解し、それぞれの日用品の用途や機能と形の調和について考え、気付いたことを自分なりにまとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり、日用品の用途や機能と形の調和について考え、気付いたことを自分なりにまとめておいたりすることは、学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			5
座ることから考える	p.44～45	2	○複数のいすをよく観察し、どのような人が、どのような場面で使うものなのか、デザインの工夫について考え、意見を交換する。 ○豊かな生活を送るため、使う人や場面とのかかわりを考えたデザインについて考えをまとめる。	○作品を鑑賞し、複数のいすをよく観察したり、どのような人が、どのような場面で使うものなのか、デザインの工夫について考え、気付いたことを自分なりにまとめる。	・教科書の掲載作品を鑑賞し、どのような人が、どのような場面で使うものなのか、デザインの工夫について考え、気付いたことを自分なりにまとめることは、学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			1.5
手づくりを味わう喜び	p.46～47	10	○身の回りがある手づくりの製品を鑑賞し、材料のよさや生かし方などについて考える。 ○材料の特性を生かし、用途や機能、美しさなどの視点から発想し、生活を豊かにするものを考え、アイデアスケッチにまとめる。 ○手になじむ感覚や使いやすいさなどを考えながら材料や用具を工夫し、生活を豊かにするものを制作する。 ○作品を相互鑑賞して、よさや美しさ、作者の意図などを感じ取り、使って楽しむための工夫などについて話し合う。	○身の回りがある手づくりの製品を鑑賞し、材料のよさや生かし方などについて考える。 ○材料の特性を生かし、用途や機能、美しさなどの視点から発想し、生活を豊かにするものを考え、アイデアスケッチにまとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・材料のよさや生かし方について考えたり、用と美の視点から生活を豊かにするデザインについてアイデアスケッチにまとめておいたりすることは、学校の授業以外の場において実施可能(0.5)	○身の回りの作品を鑑賞するときに、感染症対策に配慮する。		8.5